

## 第69回通常総代会のご報告

- ・日時 2023年5月25日(木) 午後6時20分～午後7時35分
- ・場所 教育系1号館 大1教室
- ・総代総数110名うち、本人出席37名、書面出席62名、代理出席0名、合計99名の出席でした。

## ＜総代会議案＞

- 第1号議案 2022年度活動報告・2023年度活動方針決定の件
- 第2号議案 2022年度事業報告書・決算関係書類等承認の件
- 第3号議案 2023年度事業計画・事業予算決定の件
- 第4号議案 第4次中期計画承認の件
- 第5号議案 役員報酬決定の件
- 選挙 役員選挙の件



全議案、賛成多数で承認され、役員立候補者全員が信任投票で当選・就任されました。

## (1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

| 項目      | 2019年度       | 2020年度       | 2021年度      | 本年度         |
|---------|--------------|--------------|-------------|-------------|
| 組合員数    | 5,252        | 5,184        | 5,228       | 5,547       |
| 出資金額    | 94,644,000   | 93,288,000   | 94,526,400  | 100,718,800 |
| 供給高     | 523,739,357  | 366,171,885  | 468,648,367 | 488,202,857 |
| 利用事業収入  | 144,597,807  | 44,796,018   | 75,154,723  | 114,396,492 |
| その他事業収入 | 34,511,799   | 19,848,689   | 31,331,532  | 27,706,686  |
| 経常剰余金   | △ 14,858,566 | △ 28,885,303 | △ 3,189,935 | △ 5,171,564 |
| 総資産     | 311,211,641  | 365,710,354  | 335,548,680 | 316,733,804 |
| 純資産     | 142,639,245  | 121,145,313  | 121,281,490 | 165,721,866 |

## 2022年度 剰余金処分案

福井大学生協同組合

単位:円

| 項目           | 金額         |
|--------------|------------|
| I 当期末処分剰余金   | 38,247,976 |
| II 剰余金処分額    |            |
| 1. 法定準備金     | 4,000,000  |
| 2. 60周年事業積立金 | 3,000,000  |
| 3. 店舗改装積立金   | 23,000,000 |
| 4. 災害対策積立金   | 3,000,000  |
| 5. 備品修繕費用積立金 | 3,000,000  |
|              | 36,000,000 |
| III 次期繰越剰余金  | 2,247,976  |

※次期繰越剰余金には教育事業等繰越金2,000千円を含みます。

## ＜2022年度の事業報告＞

- 総供給高は2019年以来となる6億を超え、昨年より5,873万円増加しました。その内訳は食堂事業で+4,300万円、自動車学校の伸長で1,500万円でした。
- 書籍分野および手数料収入は減収が続いています。書籍分野での減収については、教科書販売は例年通りの供給を維持していますが、日常の販売と校費の注文が減っていました。
- 供給が大幅増した一方で、経費のコントロールに苦しみ、人件費の増加で1,300万円、物件費の増加で560万円となり最終的な事業剰余は1,034万円のマイナスとなりました。

- 今年度は、共済事業がコープ共済へ譲渡された事により、大学生協共済連合会が解散となりました。そのため、これまで諸先輩方が残されてきた、残余財産の分配を受ける事ができ、最終的な剰余金は+3,935万円となりました。

## ＜2023年度方針と予算＞

- 第4次中期計画を元に新しい事にチャレンジし、大学生協再生への弾みにします。今年度が本当の意味でのWithコロナの1年目となります。システム改編の影響がまだ残る中、食堂、食品を中心としてしっかりと供給を確保し、昨年苦しんだ経費のコントロールを行って、皆様に還元できる剰余を確保してまいります。
- そのため、供給6億291万円、事業剰余828万円をめざして予算化しました。

### <第4次中期計画>

2023年までの第3次中期計画を受けて、2023年～2026年までの第4次中期計画を策定いたしました。

この計画は、コロナ禍によって、大きく後退してしまった生協の活動を復活させ、より一層の組合員サービスの向上のために策定されました。学生生活実態調査、保護者に聞く新入生調査などのアンケート活動を元に、福井大学生協理事会、監事会、学生委員会（SoSen部）、店舗スタッフ、に議論参加いただき、約1年かけて議論をし、この第69回総代会の総代の皆様にご意見いただいて、生協の2026年までに実現しうる計画として指針といたします。

「福井大学生協2030Goalsビジョン（どんな福井大学生協でありたいか）」

- ① 大学や組合員の隠れたニーズを掘り起こし、大学内にムーブメントを起こせる福井大学生協
  - > 新規事業や商品発信等のイメージで、新たな価値観を創り出したい思い
    - 1人暮らし学生への土日の食事への対応
    - 生協イルミネーションの実現
    - 地域のお店と連携して、学生に勧めたい商品を展開する。
    - 電子書籍の推進
    - 食堂の業態変化（松岡）
- ② 卒業後もまた訪れたい魅力ある大学づくりに貢献する福井大学生協
  - > オリジナルグッズ、大学への愛着、生協への愛着等のイメージ
    - 福井大学オリジナル
    - 気軽に滞在できる場所の確保
    - 卒業してよかった福井大学
- ③ 大学生の自己成長・自己発見の提案を発信し続ける福井大学生協
  - > 読書の提案、生活知識の発信、消費者教育、精神面での成長等のイメージ
    - 書籍部門の品揃えに関して、組合員の協力を得て選書する。
    - 書籍の著者や文化人などの講演会を開催する。
    - 学生が知りたい情報を、学生が知りたい形で届ける
    - 社会に出た時の生きるすべとして必要な知識を提案する
    - 大学生の心の問題に生協で出来る範囲で取り組む
- ④ 大学内で学生・教員・職員が相互に活発に参加できるコミュニティとしての福井大学生協
  - > 総代交流、組合員交流、教職員交流等、生協からだけでなく、相互に提案・実現ができる関係性の構築等のイメージ
    - 学生の活気づくり
    - ○○チャレンジなど、知的な競争を生むイベントの開催
    - 教職員と学生をつなぐ場をつくる生協
    - 学生と大学をつなぐ役割を担う生協
- ⑤ 安心できる頼れる生協
  - > 生協にしか出来ない事を整理し、大学、学生、教職員の大学生活の充実に貢献する
    - 共済関連の取り組みを強化し、健康安全の提案をすすめる
    - 福井大学生協独自の食の取り組みを進める一方で、不使用添加物の基準を遵守する

### <役員相互選>

総代会後の第1回理事会において、理事長：井上博行（国際地域学部教員）、副理事長：森幹男（工学部教員）、専務理事：堀内紀宏（生協職員）が互選されました。

これから1年間まだまだ厳しい状況が続きますが、よろしくお願いいたします。